



橋立地区

歴史めぐりコース (4.0km)

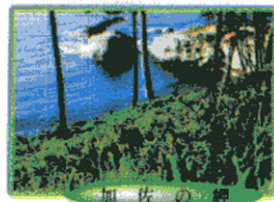
橋立地域センター⇒大通り⇒出水神社⇒蔵六園⇒北前船の里資料館⇒
橋立寺院⇒海が見える道⇒船主の墓⇒泉浜⇒あじさいの道⇒橋立港⇒
橋立地域センター

岬めぐりコース (7.1km)

橋立地域センター⇒加佐岬(トイレ有り)⇒海岸遊歩道⇒浜岬⇒
黒崎⇒橋立地域センター

尼御前めぐりコース (5.9km)

橋立地域センター⇒大通り⇒サイクリング道路⇒
尼御前(トイレ有り)⇒橋立港⇒橋立地域センター



加佐の岬



橋立のまちなみ

スタート・ゴール
橋立地域センター



北前船の里資料館



橋立湾

・橋立のまちなみ(贅を尽くした船主邸が残る)

その昔、42人もの北前船主を輩出した橋立村は、明治・大正期、日本でも有数の富豪村として知られていた。現在、この町並みは市の歴史的景観整備地域にも指定され、散策路を歩くと、往事の面影を残す豪壮な船主邸や高く積まれた石垣などを垣間見ることができる。

・加佐ノ岬(加賀海岸国定公園)

越前加賀国定公園の中でも特に美しい景観を持ち、加賀海岸で最も日本海に突き出た岬であります。岬の先端は左右に日本海の大パノラマが開ける絶好の景勝地です。緑の松林に白亜の燈台があり、自然遊歩道4.5kmもある。

・北前船の里資料館のあらまし(今、ここに甦る船乗りたちの北前魂)

この建物は橋立町の旧北前船主・酒谷家の7代目長兵衛が、明治9年に建てたものです。酒谷家は明治30年代には、幸丸など5隻の和船を持ち、年間1万円余りの収益をあげた船主です。昭和57年に加賀市が譲り受け、その当時は全国的にも珍しかった北前船の専門資料館として、一般公開が始まりました。さらに平成10年、国の登録有形文化財にもなりました。